第43回全日本総合ハンドボール選手権大会

（男子）日新製鋼　（女子）北国銀行　が念願の初優勝を飾る

第43回全日本総合ハンドボール選手権大会は、12月12日から15日までの4日間、中央大学第一体育館、駒沢屋内球技場を使用して開催された。

男子16チーム、女子14チームによって熱戦がくり広げられたが、決勝戦は男子は日新製鋼対大同特殊鋼、女子は北国銀行対大崎電気という顔合せとなった。

男子は前半なかばに優位に立った日新製鋼が、先手先手とリードを奪い、後半一時追いつかれたもののGK宇田川の好守などで再度突き放し、待望の初優勝を飾った。

女子は、立ち上がり一歩リードした北国がスピードある攻撃で終始優勢に展開、予想外の大差をつけて大崎を破り、これまた初優勝を飾った。

男子

1回戦

三陽商会 36（17－11、19－11）22 小松クラブ

〔戦評〕立ち上がり、共に速攻で得点する展開でゲームが始まった。5・1ディフェンスをしいた三陽商会は、小松クラブの攻撃パターンを読みとると積極的にパスカットを狙い、相手のミスを誘って速攻で得点を重ねる一方、セットでも浜田、田中、飯島のミドルシュートと小河原のポストプレーも決まり、着実に加点した。小松クラブも吉田、福田のミドルシュート、カットインで粘り、前半残り10分を三陽のシュート、パスミスを速攻に結びつけて得点したが、17－11と三陽の6点リードで前半を終了した。

後半に入っても小松クラブの勢いが続いたが、三陽GK高橋の好守にあい得点できず、攻撃のリズムが崩れたところを地力に勝る三陽が一気に攻め込み、大量リードを奪って36－22の大差をつけて終了した。

得	〔三陽〕		〔小松〕	得
0	藤　原	GK	池　田	0
0	高　橋	GK	清　水	0
9	飯　島	FP	松　本	0
2	小河原	FP	吉　田	7
0	大　坪	FP	吉　田	1
8	渡　辺	FP	泉	0
4	佐　藤	FP	福　田	5
5	浜　田	FP	土　山	2
7	田　中	FP	古　谷	3
0	フィオ	FP	福　田	2
0	近　藤	FP	関　戸	2
1	湯　井	FP	与三野	0
36				22

〔審・川島　森〕

中村荷役運輸 35（16－11、19－11）22 大阪体育大

〔戦評〕両チームの持ち味である速い攻撃でスタートし、9分過ぎから大阪体育大は田中、森本の4連続得点で7－6とリードを奪う。しかし、中村荷役もすぐに高木、八尾のシュートで逆転、その後も全選手がムラなく得点する中村荷役がじりじりとリードを広げ、16－11と5点のリードを奪って前半を終わる。

後半に入っても立ち上がり中村荷役が好調に得点を重ねる。中盤、大阪体育大も反撃を見せるが点差を縮めるには至らず、逆に終盤突き放されてしまい、35－22で敗れた。

若さあふれる大阪体育大にミスが少なければと悔やまれる試合であった。

得	〔荷役〕		〔大体〕	得
0	石　井	GK	緒　方	0
0	井　上	GK	四　方	0
5	田　口	FP	大　崎	1
6	朴	FP	田　中	9
7	雨　宮	FP	後　藤	3
5	八　尾	FP	井　上	0
3	元　島	FP	前　田	1
4	高　木	FP	松　原	3
1	岩　戸	FP	森　本	3
3	呉	FP	泉	0
0	栗　原	FP	村　上	0
1	田　中	FP	福　田	2
35				22

〔審・田村　斉藤〕

大同特殊鋼 44（18－9、26－8）17 香川教員

〔戦評〕立ち上がり、小兵軍団の香川教員は、GKの好守とキレのいい動き、シュートテクニックで4－4と互角にわたり合ったが、20分頃から動きを大同に読まれ、速攻のパスミスなども重なり、5点を連取されて18－9と9点差で前半を折り返した。

後半も韓国の2選手を軸にパワーとスピード、高さで得点を重ねる大同に対し、香川教員は巧みに高いディフェンスを利用したブラインドシュートやシュートフェイントからのカットインなどテクニックいっぱいの好プレーを随所に見せ、得点差は大きかったもののよく健闘した。

得	〔大同〕		〔香川〕	得
0	秋　吉	GK	高　木	0
0	林	GK	大　谷	0
2	内　藤	FP	高　畠	2
5	高　村	FP	亀　井	1
0	朝　生	FP	泉　谷	0
10	盧	FP	渡　里	4
3	名　取	FP	渡　辺	0
7	林	FP	河　合	6
7	末　岡	FP	竹　内	3
5	佐　藤	FP	上　濱	0
3	阿　萬	FP	後　井	0
2	宇多村	FP	方　山	1
44				17

〔審・小友　谷藤〕

本田技研鈴鹿 34（17－5、17－10）15 桜門クラブ

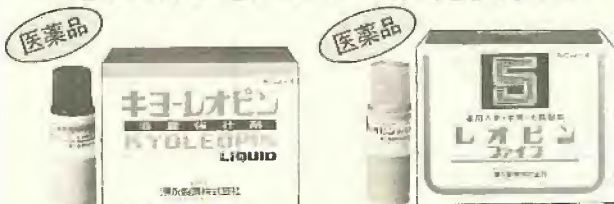
〔戦評〕立ち上がり桜門クラブが先行、接戦が期待されたが、攻守ともに実力に勝る本田技研鈴鹿が7分過ぎから8点を連取して一気に突き放してしまった。

後半に入り、若手主体になった本田に対し、桜門クラブも相手ミスをついて得点、互角の展開を見せたが、10分を過ぎて再び連続得点を許してしまい、34－15と大量得点差で勝敗が決した。

得	〔鈴鹿〕		〔桜門〕	得
0	高　木	GK	山　崎	0
0	橋　本	GK	三　原	0
2	丹　羽	FP	白　坂	2
1	藤　井	FP	釆　野	0
3	立　木	FP	堀　川	1
4	福　村	FP	水之江	1
2	内　藤	FP	大　薮	3
7	大　塚	FP	高　野	1
5	梅　基	FP	津　兼	1
0	田　口	FP	伊　藤	0
7	平　松	FP	岩　間	0
3	山　村	FP	山　田	6
34				15

〔審・後藤　島田〕

日本体育大 37（17－12、20－14）26 本田技研熊本

〔戦評〕熊本のスローオフで開始。日体大は高めの1・2・3ディフェンスで対抗する。一進一退の攻撃で、10分、5－5のタイスコア。その後日体大が相手シュートミスを速攻に結びつけ4点をリード。18分過ぎ、熊本がサイド、速攻と

加点し、11—13と反撃に出るが、雑なシュートを逆に速攻に結びつけられ、日体大が17—12と5点をリードして前半を終わる。

後半、熊本が2点先行したが、日体大もすぐに取り返し、ゲームが白熱するかに見えたが、5分過ぎ、熊本に連続退場者が出て10分で24—16と日体大がリードを広げる。波に乗った日体大は、その後も速攻、スカイなどで加点、残り10分で32—18と大量リードを奪いゲームを決めた。

熊本は後半の出足攻撃のリズムをつかみかけたが、連続退場者を出しリズムをつかめず、自滅した。

	〔熊本〕	得	〔日体〕	得
GK	宮本	0	長嶺	0
	坂本	0	西浦	0
FP	矢野	0	下地	5
	三代	4	本庄	3
	松村	7	佐藤	5
	山口	2	積	9
	川崎	1	柏崎	1
	田中	4	滝川	0
	堀内	0	椎山	0
	寺島	1	鶴田	3
	大中	7	冨本	5
	児玉	0	小沢	6
		26		37

〔審・川島 森〕

日新製鋼 33（18—13、15—5）18 京都教員

〔戦評〕立ち上がりから日新製鋼が順調に加点、12分には9—3とリードを奪って一方的な試合かと思われたが、京都教員も20分に加藤の速攻やミドルシュートで3点差まで追い上げた。しかし、地力に勝る日新は、源内の速攻などで18—13と5点差をつけて前半を終った。

後半に入っても京都は日新の高いディフェンスを破れず、中盤8連続得点を許すなど点差は開くばかりで、結局33—18で日新が快勝した。

	〔京都〕	得	〔日新〕	得
GK	山下	0	篠原	0
	咲本	0	宇田川	0
FP	国府	2	堀田	5
	佐久間	1	武田	3
	川口	0	西山	5
	池辺	0	高木	2
	西田	1	甲斐	0
	西村	5	林	3
	中村	2	池田	2
	加藤	5	坂口	0
	清水	2	野中	5
			源内	8
		18		33

〔審・田村 斉藤〕

大崎電気 33（18—10、15—5）15 福岡大

〔戦評〕前半立ち上がり、大崎・魚住のロングシュートで先制する。福岡大も早いボール回しからポストへ、そこでペナルティーを誘い同点とする。両チームの持ち味が出て9分まで競い合うも大崎に退場者が出て福岡大にチャンスが訪れるが攻撃のミスから3点連取される。その後、大崎の早いボールまわしと高さに対して守り切れず、またミスから速攻をかけられ点差は開く。福岡大もセンター3人の早いボール回し、カットインで大崎の守りを崩しにかかるもなかなか崩せず前半を終わる。

後半になっても攻守とも勝る大崎が着実に得点を重ねて一方的な試合となり、大崎の圧勝であった。

福岡大も学生チームらしく最後まで試合を捨てずよく健闘した。特にセンター3人のファイトある攻撃に見るものがあった。

	〔福岡〕	得	〔大崎〕	得
GK	篠崎	0	渡辺	0
	光井	0	矢内	0
FP	牧	0	大橋	2
	村田	1	武田	1
	清水	0	首藤	6
	中村	5	魚住	7
	米倉	4	甲斐	5
	清水	2	菅田	1
	中山	1	山内	1
	志田	0	柏崎	1
	浦塘	1	土屋	3
	中川	1	宮下	6
		15		33

〔審・小友 谷藤〕

2回戦

湧永製薬 31（14—9、17—11）20 三陽商会

〔戦評〕前半15分まで両チームともにサイドをうまく使い、6—6の同点とせったが、三陽商会がその後、湧永製薬のGK井藤の好守にあい、7分間無得点の間に湧永はポスト、速攻で4点連取し、突き放し、14—9とリードして前半を終了した。

後半、湧永は速攻、ポストで加点し、8分までに18—10とリードを広げた。一方、三陽は湧永が退場者を2名出したところで4点連

取し、4点差まで追い上げたが、メンバーが揃った湧永の多彩な攻めを守り切れず得点を許し、攻撃も単調になり、31－20で終了した。
　速攻、セットとバランスがとれた湧永に一日の長があった。

〔三陽〕	得
GK 宇田川	0
GK 高橋	0
FP 浜川	0
FP 飯島	3
FP 小河原	1
FP 大坪	2
FP 渡辺	6
FP 佐藤	0
FP 浜田	3
FP 田中	5
FP 近藤	0
FP 湯井	0
計	20

〔湧永〕	得
GK 井藤	0
GK 多田	0
FP 酒巻	3
FP 河原	6
FP 玉村	6
FP 堀田	1
FP 長沢	3
FP 荷川取	2
FP 鎌塚	0
FP 奥田	3
FP 松本	2
FP 田中	5
FP 杉山	0
計	31

〔審・田村 斉藤〕

大同特殊鋼 22 〔10－13 12－8〕 21 中村荷役運輸

〔戦評〕前半、大同は攻撃のリズムがかみ合わず、7分から12分までで中村荷役に退場者が2回もあったが無得点に終わる。その間に中村は速攻と田口のロングシュートで6－3とリードを奪う。その後中村は終始攻防でがんばり着実に加点していく。大同は攻撃にチグハグさだけが目立ち、なかなか追いつけず3点差のまま前半を終わる。
　後半になると、はじめに中村が3点連取し6点差としたところから攻撃のリズムが狂いだす。そこをすかさず見逃さず大同は積極的に攻め、16分には同点に追いつく。追いつけば大同のペースとなり、20分には4点差をつける。中村にとっては5分から8分間ノーゴールに終ったのが惜しまれる。最後は地力に勝る大同が1点差で勝利をものにした。

〔荷役〕	得
GK 石井	0
GK 井上	0
FP 田口	4
FP 朴	2
FP 雨宮	5
FP 八尾	1
FP 元島	0
FP 高木	5
FP 岩戸	0
FP 呉	4
FP 栗原	0
FP 田中	0
計	21

〔大同〕	得
GK 秋吉	0
GK 林	0
FP 内藤	1
FP 高村	2
FP 朝生	1
FP 盧	2
FP 名取	3
FP 林	8
FP 末岡	5
FP 佐藤	0
FP 阿萬	0
FP 宇多村	0
計	22

〔審・後藤 島田〕

本田技研鈴鹿 27 〔19－11 8－13〕 24 日本体育大

〔戦評〕本田技研が立ち上がりより落ち着いたプレーで主導権を握り、試合を進めていった。一方、日体大も学生チャンピオンらしいプレーで対抗し、前半10分には1点差まで追いつく健闘を見せたが、力およばなかった。前半の11分過ぎからは本田が着々と連続得点をあげ、点差を広げていく。
　後半に入り、日体大も下地、冨本らの活躍で反撃、懸命に追い上げを図ったが前半の点差を詰め切ることはできなかった。
　この試合、日体大は学生らしい若さあふれるプレーで頑張り、本田技研も日本リーグのチームらしく受けて立ち好試合になった。

〔日体〕	得
GK 長嶺	0
GK 西浦	0
FP 下地	6
FP 本庄	1
FP 佐藤	4
FP 積	5
FP 柏崎	0
FP 滝川	0
FP 嶺井	0
FP 豊増	1
FP 冨本	5
FP 小沢	2
計	24

〔鈴鹿〕	得
GK 高木	0
GK 橋本	0
FP 丹羽	3
FP 藤井	1
FP 立木	3
FP 福村	1
FP 内藤	3
FP 大塚	1
FP 梅基	0
FP 田口	0
FP 平松	5
FP 山村	10
計	27

〔審・小友 谷藤〕

日新製鋼 22 〔11－9 11－12〕 21 大崎電気

〔戦評〕互いに慎重な立ち上がりで一進一退だったが、5分過ぎから動きの止まった大崎に対し、日新が速い攻めで猛攻、GK宇田川の好守もあって7点を連取。15分過ぎまでに8－2とリードする。しかし、大崎も宮下を攻撃に投入これでリズムが出た大崎が猛反撃して25分8－9まで追い上げる。この後はそれぞれ譲らず、日新の2点リードで前半を終わる。
　後半も両者持ち味を活かした攻撃を見せる。7分、日新・野中が退場のスキに大崎が10分までに15－15と追いつく。しかし、この後大崎はリードのシュートがGK宇田川に止められ、どうしても抜け出せない。21分、18－18からの5分間は両チーム得点がなく、26分高木のシュートで日新がリードすると一気に3点差に開き、大崎の懸命の追い上げをふり切って1点差で勝利を収めた。

〔大崎〕	得
GK 渡辺	0
GK 矢内	0
FP 大橋	0
FP 武田	0
FP 首藤	6
FP 魚住	8
FP 甲斐	0
FP 菅田	1
FP 山内	0
FP 柏崎	0
FP 土屋	5
FP 宮下	1
計	21

〔日新〕	得
GK 谷	0
GK 宇田川	0
FP 堀田	4
FP 武田	1
FP 西山	2
FP 高木	2
FP 甲斐	3
FP 林	4
FP 木村	1
FP 坂口	1
FP 野中	0
FP 源内	4
計	22

〔審・川島 森〕

準決勝

大同特殊鋼 27（11－9、16－12）21 湧永製薬

〔戦評〕大同のスローオフで試合開始。2分、大同・林のミドルシュートで先行、湧永は堀田のサイド、酒巻のミドルで連取、大同は盧、林にボールを集め攻撃するが得点できず、湧永はフェイントからの個人技で対抗し、酒巻、玉村のミドル、堀田の速攻などで10分過ぎ6－3とリード。その後、大同の盧、林に当たりが出てきて一進一退のゲームが展開され、20分に湧永に退場者が出たところで大同は朝生のPT、林のミドルで逆転11－9で前半を終了。

後半、湧永は大同・盧にマンツーマンにつき攻撃のリズムを崩そうとするが、林にミドル、ポストと打ち込まれる。対する大同も玉村にマンツーにつき5対5の攻防が続いた。15分過ぎ20－16と大同がリードする。湧永も懸命に追うが、大同GK秋吉の好守にあい連続得点ができない。残り時間10分22－18と大同が4点リード。両チームともに退場者が出るがお互いに得点が取れない。残り7分、大同は林のミドル、佐藤、畑のサイドなどで連続得点し勝利を決定づけた。

得	〔大同〕	
0	秋吉	GK
0	林	GK
2	内藤	FP
1	高村	FP
3	朝生	FP
1	畑	FP
7	盧	FP
1	名取	FP
9	林	FP
1	末岡	FP
2	佐藤	FP
0	宇多村	FP
27		

〔湧永〕	得	
井藤	0	GK
多田	0	GK
酒巻	6	FP
河原	3	FP
玉村	3	FP
堀田	4	FP
新井	0	FP
長沢	1	FP
荷川取	2	FP
鎌塚	0	FP
奥田	1	FP
田中	1	FP
	21	

〔審・清水・岡本〕

日新製鋼 26（11－15、15－7）22 本田技研鈴鹿

〔戦評〕開始早々、日新・西山のPT、甲斐の速攻で連取、3分本田・田口のミドルで1点返すも日新は西山のミドルなどで4連続得点しゲームの主導権を握った。12分、本田・平松のサイドシュートが決まったが、日新はさらに3連続得点し完全に勢いに乗り、その後も着実に加点、本田も内藤のミドル、平松の速攻で粘るが15－7と日新がリードで前半を終了した。

後半、日新が2連取し幸先の良いスタートを切ったが、本田も山村のミドル、サイドで反撃、中盤から積極的なディフェンスから速攻をくり返し急追、25分過ぎに3点差まで追い上げたが、日新GK宇田川の好守もあって前半のリードを守り切った。

得	〔日新〕	
0	篠原	GK
0	宇田川	GK
2	堀田	FP
1	武田	FP
11	西山	FP
0	高木	FP
2	甲斐	FP
2	林	FP
2	木村	FP
1	坂口	FP
3	野中	FP
2	源内	FP
26		

〔鈴鹿〕	得	
高木	0	GK
橋本	0	GK
丹羽	2	FP
藤井	1	FP
立木	5	FP
福村	0	FP
内藤	1	FP
大塚	0	FP
梅基	1	FP
田口	4	FP
平松	4	FP
山村	4	FP
	22	

〔審・小笠原・浜田〕

決勝

日新製鋼 28（11－11、17－15）26 大同特殊鋼

〔戦評〕大同は8年振り9度目の決勝進出、一方の日新は初出場の14回大会以来実に30年目にして初の決勝進出となった。

先取点は大同・盧のロングシュートが決まり、すかさず日新・西山のミドルシュートで反撃。両チーム打ち合いのゲーム展開となり、2点リードした日新が主導権を握って後半を迎える。

2点を追う大同は後半11分、林のミドルで同点（20－20）とするが、日新もすかさず反撃しリードする。大同は攻撃が単発になり、日新GK宇田川の好守もあり、リズムは日新にあった。大同は追い上げようとするが、再三の宇田川の好守にあってあせりが見え、残り3分には28－26にはしたものの、日新が最後までリードを守り、念願の初優勝を飾った。

得	〔日新〕	
0	谷	GK
0	宇田川	GK
1	堀田	FP
3	武田	FP
10	西山	FP
0	高木	FP
3	甲斐	FP
4	林	FP
0	木村	FP
1	坂口	FP
1	野中	FP
5	源内	FP
28		

〔大同〕	得	
秋吉	0	GK
林	0	GK
内藤	0	FP
高村	5	FP
朝生	2	FP
畑	0	FP
盧	9	FP
名取	0	FP
林	2	FP
末岡	3	FP
佐藤	5	FP
宇多村	0	FP
	26	

〔審・川島・森〕

女子

1回戦

日立栃木 36（19－4、17－8）**12 京都教員**

〔戦評〕大会オープニングゲームとあって前半両チームとも固さが見られたが、堤の速攻で先手を取った日立は全員がよく動き、着実に得点を重ねた。一方京都教員は日立の堅い守りを崩せず、攻めあぐみ、前半を19－4と日立が大きくリードして折り返す。

後半に入っても、日立は速攻、ロング、ポストと多彩な攻撃で京都教員を圧倒し、日立の若さあふれるプレーが光ったゲームであった。

〔京都〕	得		〔日立〕	得
山本	0	GK	梅津	0
松永	0	GK	坂本	0
矢野	1	FP	新井	4
池上	1	FP	柳田	4
中尾	1	FP	飯塚	7
藤田	6	FP	尾苗	3
大槻	0	FP	市来	2
小橋	0	FP	岡田	2
野村	3	FP	石毛	1
		FP	堤	9
		FP	小柏	1
		FP	貴田	3
計	12		計	36

〔審・武智、松原〕

日本体育大 17（6－3、11－8）**11 ブラザー工業**

〔戦評〕両チームとも固さのため得点することができなかったが、試合開始5分に日体大が得点すると試合が動き出した。お互いに1・2・3ディフェンスをしき、守り合いとなるが、徐々に日体大のディフェンスからの速攻が決まり出し、前半を6－3で折り返す。

後半の立ち上がり、ブラザー・末永のロングシュートが決まり、ブラザーの反撃ムードに見えたが、足を止めない日体大はシュートミスが多いものの、次々に速攻で得点を重ねた。日体大の守り勝ちである。

〔ブ工〕	得		〔日体〕	得
喜多	0	GK	小松崎	0
西住	0	GK	久保田	0
末永	1	FP	竹吉	2
小栗	0	FP	大畑	4
野田	0	FP	児玉	2
藤江	0	FP	福成寺	1
甲斐	4	FP	若林	0
進藤	3	FP	福西	5
畑中	1	FP	新井	0
原	0	FP	西村	0
三好	1	FP	柳田	2
児玉	1	FP	石原	1
計	11		計	17

〔審・小笠原、浜田〕

ジャスコ 33（11－8、22－4）**12 熊本クラブ**

〔戦評〕両チームとも緒戦とあって今一歩ゲームの流れに合わず、初歩的なミスが目立った。

ジャスコは熊本クラブのミスを着実に速攻で得点し、11－8とジャスコが3点をリードして前半を終了した。

後半に入り、熊本クラブはチームカラーを発揮しようとチーム一丸となってジャスコに立ち向うが、ジャスコの堅いディフェンス、シャープな動きに圧倒された。ジャスコは熊本クラブのミスを着実に加点して勝利を飾った。

〔熊本ク〕	得		〔ジャス〕	得
荒木	0	GK	小林	0
		GK	長谷川	0
大宮	1	FP	今井	9
上原	1	FP	東出	5
浦田	0	FP	勝島	1
鋤崎	2	FP	稲田	2
中山	7	FP	山田	3
松井	1	FP	川井	3
高洲	0	FP	飯田	1
		FP	成澤	2
		FP	徳永	4
		FP	土師	3
計	12		計	33

〔審・高橋、森山〕

シャトレーゼ 32（15－15、13－13、2－1、2－2）**31 東京女子体育大**

〔戦評〕前半、学生No.1の東女体大は先取点で幸先の良い立ち上がりを見せた。これに対し、日本リーグ1部のシャトレーゼも李を中心に得点を重ね、東女体大は飯田の組み立てで得点、両チームとも一進一退の攻防が続いた。しかし、東女体大は20分、並松の退場の間に2点差をつけられ、さらにミスから残り5分で10－14とシャトレーゼに引き離された。ここで

シャトレーゼも不正交代の痛いミスで同点に追いつかれ、15－15で前半を折り返した。

後半に入っても一進一退の攻防は続き、東女体大は日比野、本橋のミドル、本間のポストからの得点、またシャトレーゼも小松、山岸らのロングなどで得点を重ねた。後半残り10分で小松の痛い退場があり、東女体大に引き離すチャンスがあったが、シャトレーゼも踏んばり、逆に残り1分で1点リードした。しかし東女体大も本間のポストで追いつき28－28の同点で延長に入った。

延長前半3分、東女体大は本橋、飯田と中心選手が連続して退場しリズムを崩した。2－1とシャトレーゼのリードで折り返した後半、シャトレーゼは小野寺のポストからの連続得点で勝負を決め、1点差でシャトレーゼが辛くも2回戦進出を決めた。

〔東女体〕		得
GK	今野	0
	庄司	0
FP	日比野	9
	井口	0
	上田	2
	小島	1
	田島	2
	本橋	7
	並松	0
	本間	8
	飯田	2
	山田	0
		31

審・岡本 清水

得	〔シャト〕	
0	工藤	GK
0	村山	
7	小松	FP
6	山岸	
6	松沢	
1	野沢	
2	小林	
4	小野寺	
0	千葉	
0	小俣	
6	李	
0	小友	
32		

オムロン32〔18－14 14－12〕26べにばなクラブ

〔戦評〕本年度国体優勝のオムロン対来年国体をひかえ進況著しい山形べにばなクラブの対戦。

開始早々、オムロン・中山の速攻で先取点。しかし、べにばなクラブもすぐに小池の速攻で得点、どちらも速い動きから攻撃するタイプで、1点を争うシーソーゲーム。しかし、20分過ぎより実力に勝るオムロンが有利に試合を進め18－14で前半を終わる。

後半も前半同様の展開で、べにばなクラブもよく善戦したものの着実に得点を重ねたオムロンが32－26でふり切った。

〔べに〕		得
GK	後藤	0
FP	新田	12
	小高	0
	本田	2
	青木	0
	小原	2
	野嶋	7
	小池	1
	高橋	2
	三嶋	0
	藤田	0
		26

審・武智 松原

得	〔オム〕	
0	川島	GK
0	城下	
5	中山	FP
1	古田	
4	比嘉	
1	橋本	
1	斉藤	
1	吉田	
10	石、村	
7	イエカ	
0	ズラブカ	
2	田中	
32		

大和銀行29〔16－16 13－12〕28筑波大

〔戦評〕スピードあふれる両チームの攻防は、大和が残り30秒で決勝点をあげて辛勝した。

強力なロングシュートと速攻を武器とする大和、一方多彩なセットプレーと速攻を中心とする筑波大のゲームは、スピード感があり、見応えのあるゲームであったが、両チームともにミスが多く決め手に欠けた。前半、後半ともに全くの一進一退の展開に終始したこの試合、残り30秒、28－28の同点から大和・又吉がサイドシュートを決めて結着をつけた。

〔筑波〕		得
GK	斉藤	0
	小前田	0
FP	加古川	3
	竹内	0
	中沢	7
	柳内	9
	長久	0
	西田	2
	野村	5
	飯田	0
	東田	0
	大前	2
		28

審・森山 高橋

得	〔大和〕	
0	上田	GK
1	竹田	FP
3	不口	
9	小池	
2	伊藤	
4	日野	
0	戸高	
1	松田	
0	又吉	
3	西口	
5	山尾	
28		

2回戦

大崎電気29〔14－9 15－12〕21日立栃木

〔戦評〕今シーズン日本リーグ1部昇格した日立は、飯塚の速攻でまず先取点をあげた。大崎はサイドシュートで攻撃に出るが、着地の判定によりなかなか得点することができなかったが、開始5分過ぎに藤井のカットインで初得点をあげた。その後、大崎はポストを利用し日立のディフェンスを崩していく展開で、ずらしながらノーマークをつくり得点をあげていった。一方の日立は、高い大崎ディフェンスに対し、ディフェンスの間に入り込みながらディフェンスをずらしノーマークをつくるが、大崎GK宗片の好守もあり、なかなか大崎に追いつくことができずポスト攻撃で多彩な展開をしかける大崎は5点リードで前半を終える。

後半に入り、日立は大崎の高い

ディフェンスを崩そうとするが、なかなか切り崩せずに、攻撃が単調になったスキに大崎は相手のミスを誘い、速攻で得点をあげていった。攻撃リズムを崩した日立はミスも多くなり、試合展開は大崎のペースになった。反撃の糸口を見つけようとする日立だが、単調な攻撃によりディフェンスのペースも崩れかけ、攻撃力に勝る大崎は後半もリードしたまま試合終了。

〔日立〕		得
GK	植津	0
GK	坂本	0
FP	吉鶴	1
FP	新井	5
FP	柳田	0
FP	飯塚	8
FP	尾苗	0
FP	市来	2
FP	岡田	2
FP	石毛	0
FP	堤	3
FP	貫田	0
		21

得	〔大崎〕	
0	南雲	GK
0	宗方	GK
3	藤井	FP
1	前川	FP
2	梅原	FP
2	江口	FP
0	鷲宮	FP
1	野田	FP
8	金	FP
8	尹	FP
1	伝法谷	FP
3	酒井	FP
29		

〔審・岡本・清水〕

ジャスコ 26 （16－10, 10－7） 17 日本体育大

〔戦評〕前日ブラザー工業に勝ち波に乗る日体大と実業団選手権1位のジャスコの対決は、立ち上がり1分、ジャスコのシュートが決まるとすぐに日体大が得意の速攻で反撃するという面白い展開で試合が開始した。しかし、ジャスコはその後に林のキレのいいシュートやフェイントなどで日体大のディフェンスを切り崩し、押し気味に試合を進めた。前半、残り10分頃に不正交代などで4名となるが、日体大はそこで攻め切れず、反対にジャスコの得点を許すなどしてリズムをつかめず前半を終了した。

後半に入っても、ジャスコは韓国コンビの活躍で日体大につけ入るスキを与えず快勝した。両チームとも少しミスの目立つ試合であった。

〔日体〕		得
GK	小松崎	0
GK	久保田	0
FP	竹吉	3
FP	大畑	3
FP	児玉	3
FP	福成寺	4
FP	若林	1
FP	福西	0
FP	新井	0
FP	西村	0
FP	柳田	1
FP	石原	2
		17

得	〔ジャス〕	
0	小林	GK
0	長谷川	GK
2	今井	FP
3	東出	FP
2	勝島	FP
1	稲田	FP
3	川井	FP
2	飯田	FP
0	成澤	FP
7	林	FP
2	土師	FP
4	金	FP
26		

〔審・森山・高橋〕

オムロン 29 （13－8, 16－8） 16 シャトレーゼ

〔戦評〕前期日本リーグでは引き分けのクロスゲームを展開し、今回で改めて決着をつける対戦に期待がもたれたが、結果としてはオムロンの快勝に終った。

試合は前半開始早々からオムロンの好守が目立ち、ポストプレーを封じられ、あせりのロングシュートに頼るシャトレーゼの攻撃の失敗をオムロン中山、比嘉が速攻で攻める展開となった。7－2の劣勢から一時3点連取したシャトレーゼが互角に持ち込む気配を見せたが、結局はここまで。

ユーゴの助っ人グデリューの攻守にわたるビッグプレーのみが印象に残るゲームとなった。

〔シャト〕		得
GK	工藤	0
GK	村山	0
FP	小松	2
FP	山岸	3
FP	松沢	4
FP	野沢	0
FP	小林	0
FP	小野寺	4
FP	合田	1
FP	千葉	0
FP	李	2
FP	小友	0
		16

得	〔オム〕	
0	川島	GK
0	城下	GK
6	中山	FP
2	武津	FP
0	古田	FP
9	比嘉	FP
1	橋本	FP
0	斉藤	FP
1	吉田	FP
3	石村	FP
7	イエヤ	FP
0	ズラブカ	FP
29		

〔審・浜田・小笠原〕

北国銀行 34 （20－14, 14－12） 26 大和銀行

〔戦評〕前半10分まで一進一退の好ゲームであったが、13分、北国・金のアシストプレー、多彩なパスプレーで23分までに18－9とし、一方的ゲームかと思われたが、大和も山尾のロングを中心に追撃し、前半を20－14と北国銀行が6点をリードして折り返す。後半に入っても両チームともによく走り、スリリングなゲームを展開したが、GK木戸の好守から速攻につなげ34－26で北国銀行が逃げ切った。

〔大和〕		得
GK	上田	0
FP	竹田	6
FP	木口	3
FP	小池	3
FP	伊藤	1
FP	日野	1
FP	戸高	0
FP	松田	1
FP	又吉	1
FP	西口	2
FP	山尾	8
		26

得	〔北国〕	
0	木戸	GK
0	古澤	GK
1	上田	FP
0	矢野	FP
0	西川	FP
6	松下	FP
0	松山	FP
9	谷本	FP
5	森	FP
9	金	FP
3	松田	FP
1	釣川	FP
34		

〔審・武智・松原〕

準決勝

大崎電気28（17−10、11−13）**23ジャスコ**

〔戦評〕先取点を許したジャスコであったが、飯田の速攻と林、金のミドルで連取し良いスタートを切った。それに対し、大崎は5分過ぎから防御を固め反撃に出て、ポスト、サイドをうまく使い4連取し逆転。その後も右サイド半分に偏るジャスコの攻撃に対し、金、尹を中心にミドル、ポスト、サイドと多彩な攻めを見せ17−10と前半をリードした。

後半も順調なスタートを切った大崎であったが、中心の尹をケガで欠きリズムが狂ったところを速攻を中心にジャスコの反撃にあったが、サイド攻撃でしのぎ、前半のリードもあって逃げ切った。

〔ジャス〕		得
GK	小林	0
GK	長谷川	0
FP	今井	1
FP	東出	2
FP	勝島	1
FP	稲田	0
FP	川井	1
FP	飯田	1
FP	成澤	1
FP	林	5
FP	土師	5
FP	金	6
		23

審・田村 斉藤

得	〔大崎〕	
0	南雲	GK
0	宗方	GK
2	藤井	FP
3	前川	FP
4	梅原	FP
6	江口	FP
0	鷲宮	FP
0	野田	FP
3	金	FP
7	尹	FP
3	伝法谷	FP
0	酒井	FP
28		

北国銀行28（14−7、14−9）**16オムロン**

〔戦評〕両チームとも攻撃のリズムをつかめず5分過ぎまで無得点の立ち上がりであった。ようやく5分30秒に先手をとった北国が、金のミドル、カットインに速攻が出て15分までに10−3と大きくリードした。オムロンは、グデリューがマンツーマン・ディフェンスにあい攻撃のリズムに乗れずにいたが、20分過ぎに比嘉の活躍で連続得点をし粘った。しかし、その後も金、松田のミドルなどで着実に加点した北国銀行が14−7と大きくリードして前半を終了した。

後半に入っても前半の流れは変らず、懸命にプレーするオムロンを総合力で勝る北国銀行が突き放し圧勝した。

〔オム〕		得
GK	川島	0
GK	城下	0
FP	中山	3
FP	武津	1
FP	古田	0
FP	比嘉	5
FP	橋本	1
FP	斉藤	0
FP	吉田	2
FP	石村	3
FP	イエカ	1
FP	ズラブカ	0
		16

審・武智 松原

得	〔北国〕	
0	木戸	GK
0	岩井	GK
0	上田	FP
1	矢野	FP
0	西川	FP
8	松下	FP
0	松山	FP
3	谷本	FP
4	森	FP
7	金	FP
5	松田	FP
0	釣川	FP
28		

決勝

北国銀行35（15−11、20−15）**26大崎電気**

〔戦評〕前半立ち上がり、大崎は梅原のポストへの反則で退場、北国が一歩リードする展開となる。北国は全員がスピードのある攻撃で松田の組み立てから金のカットインやミドル、谷本のポスト、松下のサイドからスカイプレーなどで得点を重ねる。これに対し大崎は立ち上がりからエース尹にマンツーマン・ディフェンスされるが、金のカットイン、江口のサイドプレーなどで得点するが、15−11と北国が4点をリードして折り返す。

後半に入ると両チーム点の取り合いとなるが、12分に藤井、梅原の連続退場で大崎は一時FPが4人となるケースとなる。この間に北国はリズムをつかみ、大崎がノーマークを3本連続はずす間に6連続得点を速攻やサイドなどスピードある攻撃を重ね、大崎を大きく引き離した。結局、スピードに勝る北国が大崎を9点差で破り、念願の初優勝を飾った。

〔大崎〕		得
GK	南雲	0
GK	宗方	0
FP	藤井	1
FP	前川	3
FP	梅原	5
FP	江口	5
FP	鷲宮	0
FP	野田	0
FP	金	6
FP	尹	6
FP	伝法谷	0
FP	酒井	0
		26

審・後藤 島田

得	〔北国〕	
0	木戸	GK
0	岩井	GK
2	上田	FP
3	矢野	FP
0	西川	FP
7	松下	FP
0	松山	FP
9	谷本	FP
4	森	FP
9	金	FP
1	松田	FP
0	釣川	FP
35		

各地の大会から

東北

第41回青森県高校秋季大会

（9月21日～11月17日／野辺地町体育館ほか）

●中央地区大会

〈男子〉

▼予選リーグAブロック

青森商 21－8 青森東
青森商 19－9 今別
今別 22－13 青森東

▼同Bブロック

青森山田 18－10 青森南
青森南 21－11 青森
青森山田 27－11 青森

▼5、6位決定戦

青森東 17－11 青森

▼3、4位決定戦

今別 21－11 青森南

▼決勝

青森商 22－18 青森山田

〈女子〉

▼リーグ戦

青森商 13－3 青森東
青森中央 24－7 今別
青森西 23－4 青森東
青森中央 20－8 青森商
今別 16－14 青森西
青森中央 16－8 青森東
今別 17－8 青森商
青森西 16－7 青森商
今別 26－4 青森東
青森中央 23－9 青森西

〔順位〕①青森中央②今別③青森西④青森商⑤青森東

●南地区大会

〈男子〉

▼1回戦

野辺地工 22－11 横浜分校
七戸 26－10 三本木農
十和田工 21－16 三本木

▼準決勝

野辺地 22－7 野辺地工
七戸 13－13 十和田工
3PTC2

▼5位決定リーグ

三本木農 12－10 横浜分校
三本木 42－10 横浜分校
三本木 29－5 三本木農

▼3位決定戦

野辺地工 17－16 十和田工

▼決勝

野辺地 35－10 七戸

〈女子〉

▼リーグ戦

野辺地 18－5 三本木
六ヶ所 18－1 三本木
野辺地 7－6 六ヶ所

〔順位〕①野辺地②六ヶ所③三本木

●西地区大会

〈男子〉

▼リーグ戦

鰺ヶ沢 10－6 五所川原工
五所工 15－4 五所川原
鰺ヶ沢 8－8 五所川原

〔順位〕①鰺ヶ沢②五所川原工③五所川原

●県大会

〈男子〉

▼1回戦

今別 18－3 七戸

▼2回戦

青森商 27－5 今別
青森 30－12 三本木農
五所川原工 20－17 横浜分校
青森南 27－7 五所川原
三本木 26－11 鰺ヶ沢
野辺地工 27－15 柏農
青森東 30－10 十和田工
野辺地 15－14 青森山田

▼3回戦

青森商 31－6 青森
青森南 34－9 五所川原工
三本木 20－18 野辺地工
野辺地 31－13 青森東

▼準決勝

青森商 28－17 青森南
野辺地 27－17 三本木

▼決勝

青森商 27（16－3、11－3）6 野辺地

〈女子〉

▼一回戦

今別 11－8 野辺地
青森東 18－1 三本木
青森商 14－11 六ヶ所
青森中央 26－15 青森西

▼準決勝

今別 25－5 青森東
青森中央 2[illegible]－6 青森商

▼決勝

青森中央 25（12－8、13－4）12 今別

関東

第18回千葉県総合選手権

（11月2～4日／三井石油体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

土気高 17－16 デサントク
若松高A 36－10 木更津ク
二松沼南 30－6 木更津高
東京学館A 30－1 幕張北高B
FIKS 18－8 東京学館B
若松高B 28－13 柏高
市原高 16－11 国府台高
若潮ク 22－21 専大松戸B
東葛飾高 19－13 専大松戸A
若松ク 31－6 鶴舞高
海目下総B 26－24 千葉大A
学館ク 24－17 小金高A
八千代高B 16－11 小金高B
東邦高 23－6 泉高A
市川FOG 23－18 市松倶楽部
生浜高A 23－5 幕張北高A
日球会ク 17－16 生浜高B

▼2回戦

千葉教員 23－9 土気高
三松沼南 17－15 若松高A
小金ク 17－16 東京学館A
三井石油 17－14 FIKS
若潮ナッツ 23－22 若松高B

千葉大B 21－7 市原高
東京理科大 19－17 若潮ク
順天大A 41－6 東葛飾高
市川高 24－18 若松ク
佐原高 22－12 海目下総B
八千代高A 15－9 学館ク
順天大B 22－11 八千代高B
東邦高 22－11 出光石油
市川FOG 18－16 海目下総A
泉高B 22－18 生浜高A
国際武道大 23－7 日球会ク

▼3回戦
千葉教員 26－12 二松沼南
小金ク 30－14 三井石油
千葉大B 12－0 若潮ナッツ
順天大A 25－20 東京理科大
市川高 38－9 佐原高
順天大B 28－13 八千代高A
市川FOG 23－21 東邦高
国際武道大 25－13 泉高B

▼4回戦
千葉教員 30－19 小金ク
順天大A 22－17 千葉大B
順天大B 25－24 市川高
国際武道大 27－16 市川FOG

▼準決勝
千葉教員 19－14 順天大A
順天大B 19－18 国際武道大

▼決勝
順天大B 25（13－9、12－14）23 千葉教員

〈女子〉
▼1回戦
佐原高 20－7 幕張北高
柏高 17－14 御宿家政
千葉明徳 13－12 千葉大
明徳短大 20－14 生浜高
若松高A 16－13 東邦高
若松高B 21－8 市立松戸

▼2回戦
千葉ク 31－5 佐原高
千葉明徳 19－10 柏高
明徳短大 21－11 若松高A
若松高B 16－10 東葛飾高

▼準決勝
千葉ク 26－7 千葉明徳
明徳短大 27－5 若松高B

▼決勝
明徳短大 17（7－4、10－9）13 千葉ク

東海

岐阜県高校総体

（8月17、18日／岐阜南高）

〈男子〉
▼1回戦
各務原東 17－16 池田
岐陽 21－11 斐太
可児 7－6 岐阜南
各務原西 18－8 郡上

▼2回戦
市岐阜商 18－4 各務原東
中京商 16－10 高山工
大垣東 8－7 大垣北
岐陽 18－6 岐山
大垣南 16－10 可児
岐阜東 13－7 大垣工
岐阜西工 19－4 各務原
県岐阜商 14－6 各務原西

▼3回戦
市岐阜商 17－9 中京商
岐陽 14－11 大垣東
岐阜東 15－10 大垣南
岐阜西工 15－9 県岐阜商

▼準決勝
市岐阜商 21－8 岐陽
岐阜東 18－13 岐阜西工

▼決勝
岐阜東 18（10－7、8－6）13 市岐阜商

〈女子〉
▼1回戦
富田女 9－4 大垣南
瑞浪 12－8 各務原
本巣 11－1 池田
岐阜北 13－6 大垣東
加納 10－7 大垣女
養老女商 14－5 各務原西
県岐阜商 7－4 益田
高山 14－3 郡上

▼2回戦
富田女 15－6 瑞浪
本巣 19－6 岐阜北
養老女商 22－7 加納
高山 21－6 県岐阜商

▼準決勝
富田女 12－3 本巣
養老女商 15－11 高山

▼決勝
養老女商 18（8－8、10－8）16 富田女

第9回松野杯岐阜県高校選手権

（8月17、18日／岐阜南高）

〈男子〉
▼1回戦
長良 16－8 大垣農
多治見北 15－11 中濃西
岐阜北 19－3 益田南
可児工 17－8 中津
海津 20－5 益田

▼2回戦
加納 26－10 長良
岐阜北 15－12 多治見北
岐阜工 15－9 可児工
海津 24－23 羽島北

▼準決勝
岐阜北 18－14 加納
海津 18－11 岐阜工

▼決勝
海津 21（12－8、9－9）17 岐阜北

〈女子〉
▼1回戦
海津 20－6 益田南
大垣西 10－6 可児

▼2回戦
海津 9－4 羽島北
各務原東 12－6 不破
斐太 11－6 岐山
長良 16－6 大垣西

▼準決勝
海津 19－5 各務原東
斐太 14－6 長良

▼決勝
斐太 16（9－11、7－4）15 海津

第45回三重県民体育大会

（10月26、27日／津東高校ほか）

〈成年男子〉
▼1回戦

津市 17－16 久居市
三重郡 29－12 亀山市
四日市市 30－9 尾鷲市

▼準決勝
鈴鹿市 30－6 津市
四日市市 25－19 三重郡

▼決勝
鈴鹿市 27（13－10、14－8）18 四日市市

〈成年女子〉

▼1回戦
津市 16－15 三重郡

▼準決勝
鈴鹿市 13－6 尾鷲市
四日市市 29－4 津市

▼決勝
四日市市 23（14－6、9－1）7 鈴鹿市

〈少年男子〉

▼1回戦
亀山市 20－13 三重郡
津市 22－1 名張市
鈴鹿市 13－9 桑名市

▼準決勝
四日市市 27－15 亀山市
鈴鹿市 11－8 津市

▼決勝
四日市市 15（7－8、8－5）13 鈴鹿市

〈少年女子〉

▼1回戦
鈴鹿市 12－9 名張市

▼準決勝
三重郡 18－15 津市
四日市市 19－3 鈴鹿市

▼決勝
四日市市 23（13－2、10－4）6 三重郡

三重県高校秋季選手権

（11月10～23日／ジャスコ体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
四日市 35－11 津工
桑名北 15－7 尾鷲
高田 40－8 朝明
上野工 11－10 津西
四日市四郷 9－7 桑名西
桑名 30－5 海星
四日市西 12－9 四日市中央工

▼2回戦
四日市工 21－16 四日市
川越 31－6 上野
津東 17－15 桑名北
津 15－6 高田
亀山 21－2 上野工
四日市四郷 21－5 名張西
桑名 15－9 四日市南
桑名工 15－11 四日市西

▼3回戦
四日市工 26－4 川越
津東 12－8 津
亀山 20－6 四日市四郷
桑名 18－10 桑名工

▼3位決定戦
亀山 20－10 津東

▼決勝
四日市工 11（5－6、6－3）9 桑名

〈女子〉

▼1回戦
名張西 14－8 川越
松坂女子 12－11 津
津東 22－11 桑名
四日市四郷 8－6 四日市南
四日市 24－9 四日市西
尾鷲 11－7 桑名西
四日市商 22－6 上野

▼2回戦
暁 18－5 名張西
津東 24－1 松坂女子
四日市 27－5 四日市四郷
四日市商 44－0 尾鷲

▼準決勝
暁 22－3 津東
四日市商 21－6 四日市

▼3位決定戦
四日市 18－10 津東

▼決勝
四日市商 14（8－5、6－5）10 暁

北信越

長野県高校新人大会

（11月1～3日／更埴市民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
北佐久農 12－0 長野南
松川 24－13 臼田
千曲 37－10 中野

▼2回戦
屋代 39－4 北佐久農
野沢北 22－15 美須々
上田 33－10 更級農
富士見 2[illegible]－8 松本一
田川 22－10 松川
坂城 31－16 野沢南
清陵 31－21 長野東
小諸 32－7 千曲

▼3回戦
屋代 32－11 野沢北
上田 41－14 富士見
坂城 17－16 田川
小諸 34－9 清陵

▼準決勝
屋代 28－18 上田
小諸 21－14 坂城

▼決勝
屋代 24（10－5、14－7）12 小諸

〈女子〉

▼1回戦
蟻ヶ崎 41－0 千曲
更級農 21－2 北佐久農
美須々 12－0 長野南

▼2回戦
屋代 17－10 蟻ヶ崎
田川 12－10 小諸商
塩尻 30－6 更級農
佐久 35－3 美須々

▼準決勝
屋代 27－7 田川
佐久 26－8 塩尻

▼決勝
屋代 18（9－6、9－6）12 佐久

福井県高校新人大会

（11月9～11日／羽水高校）

〈男子〉

▼1回戦
藤島 20－11 武生
高志 27－12 科技

▼2回戦
北陸 45－1 藤島
羽水 22－8 福井商
丹南 18－16 武東
高志 15－13 金津

▼準決勝
北陸 30－6 羽水
高志 22－15 丹南

▼決勝
北陸 40（18－9、22－4）13 高志

〈女子〉

▼1回戦
福井農 20－8 武商

▼2回戦
福井商 42－4 福井東
福井女 38－3 武東
羽水 25－8 高志
仁愛 36－3 藤島

▼準決勝
福井商 22－4 福井女
仁愛 20－9 羽水

▼決勝
福井商 22（10－6、12－7）13 仁愛

近畿

和歌山県秋季選手権

（11月3、4日／那賀高校）

〈一般男子〉

▼一回戦
海南ク 16－11 和歌山ク
紀北農芸高 16－4 御坊商工高
県和商高 19－3 箕島高
耐久高 14－13 和工高
白馬ク 20－13 新宮商高
桐蔭ク 15－9 市和商高
粉河高 16－12 桐蔭高
貴志川高 14－8 笠田高
県和商ク 16－14 近大附和歌山高
海南高 25－5 和歌山東高

▼2回戦
新商ク 22－8 和高専
紀北農芸高 20－14 海南ク
耐久高 15－14 県和商高
那賀ク 23－11 白馬ク
和歌山大 25－15 桐蔭ク
那賀高 19－10 粉河高
県和商ク 22－16 貴志川高
住友金属 30－6 海南高

▼3回戦
紀北農芸高 14－13 新商ク
那賀ク 20－9 耐久高
那賀高 20－13 和歌山大
住友金属 19－7 県和商ク

▼準決勝
那賀ク 27－12 紀北農芸高
住友金属 13－9 那賀高

▼決勝
那賀ク 22（11－5、11－6）11 住友金属

〈一般女子〉

▼1回戦
御坊商工高 15－13 笠田高
箕島高 14－3 県和商高
粉河高 17－12 県和商ク

▼2回戦
那賀ク 27－10 御坊商工高
貴志川高 20－4 海南高
オレンジ 10－6 箕島高
那賀高 20－6 粉河高

▼準決勝
那賀ク 19－11 貴志川高
那賀高 20－6 粉河高

▼決勝
那賀高 12（3－3、9－2）5 那賀ク

〈中学生男子〉

▼1回戦
紀伊中 10－9 金屋中
岩出第二中 11－2 近大付属和歌山中
有功中 26－9 那賀中
湯浅中 24－3 打田中

▼2回戦
紀伊中 15－8 貴志川中
岩出第二中 13－10 白馬中
西和中 20－15 有功中
岩出中 17－7 湯浅中

▼準決勝
岩出第二中 12－10 紀伊中
岩出中 15－13 西和中

▼決勝
岩出中 14（9－5、5－4）9 岩出第二中

〈中学生女子〉

▼1回戦
桃山中 10－4 貴志川中
粉河中 11－8 那賀中
岩出中 15－5 打田中

▼準決勝
岩出第二中 20－4 桃山中
岩出中 20－6 粉河中

▼決勝
岩出第二中 13（5－4、8－2）6 岩出中

中国

山口県体育大会（中学校の部）

（10月6、7日／平川中学校）

〈男子〉

▼1回戦
文洋 31－5 鴻南
玄洋 21－13 美川
河内 22－14 熊毛
大畠 20－3 東部
須金 13－9 高千帆

▼2回戦
末武 20－10 文洋
深浦 31－7 萩第一
住吉 18－11 玄洋
河内 20－14 小野田
日新 20－8 大畠
太華 23－15 北河内
平田 20－17 下松
菊川 20－15 須金

▼3回戦
末武 23－11 深浦
住吉 18－11 河内
日新 21－11 太華
菊川 17－12 平田

▼準決勝
住吉 18－10 末武
日新 19－15 菊川

▼決勝

住吉 12（5－8、7－3）11 日新

〈女子〉

▼1回戦

太華 12－6 河内

平田 20－16 周陽

熊毛 8－6 天尾

▼2回戦

下松 24－7 太華

玖珂 16－9 岐陽

平田 13－10 末武

住吉 21－4 熊毛

▼準決勝

下松 15－12 玖珂

住吉 12－7 平田

▼決勝

下松 13（5－4、8－2）6 住吉

わかとり国体記念フェスティバル

（10月27日／境港工高）

〈高校男子〉

▼1回戦

境港工 28－4 米子工高専

スペシャルゲスト 不戦勝 米子西

米子北 20－3 境水産

境 13－8 米子東

▼2回戦

境港工 21－12 スペシャルゲスト

境 22－7 米子北

▼敗者戦

スペシャルゲスト 18－14 米子東

米子工高専 16－2 境水産

▼決勝

境港工 23（14－2、9－7）9 境

〈高校女子・中学男子〉

▼1回戦

境高 14－12 境一中

境二中 不戦勝 米子東高

米子北高 不戦勝 米子西高

境三中 22－6 米南商高

▼2回戦

境高 13－9 境二中

境三中 17－2 米子北高

▼敗者戦

境二中 21－6 米南商高

境一中 31－3 米子北高

▼決勝

境高 11（4－5、7－3）8 境三中

〈中学女子〉

境三中 14－2 境二中

〈成年男子〉

▼1回戦

教職員 21－18 鳥取大

境港クラブ 不戦勝 倉吉クラブ

▼決勝

境港ク 30（15－6、15－7）13 教職員

第46回岡山県高校新人大会

（11月2～9日／津山商高ほか）

〈男子〉

▼1回戦

西大寺 16－7 津山東

朝日 12－7 津山

玉野 29－7 和気閑谷

東岡工 15－7 芳泉

古城池 20－10 大安寺

落合 16－13 矢掛

児島 14－12 倉敷商

高梁工 19－8 高松農

操山 15－10 一宮

▼2回戦

西大寺 13－5 朝日

総社南 16－6 玉野

東岡工 20－5 金川

古城池 19－6 備前東

関西 18－7 落合

倉敷南 17－10 児島

水島工 16－5 高梁工

操山 13－11 青陵

▼3回戦

吉備 16－8 西大寺

総社南 13－6 津山工

東岡山 9－3 玉野光南

倉敷工 15－8 古城池

岡山工 15－6 関西

倉敷南 14－11 天城

理大附 17－13 水島工

総社 9－8 操山

▼4回戦

吉備 15－6 総社南

倉敷工 12－10 東岡工

岡山工 16－9 倉敷南

総社 13－12 理大附

▼準決勝

吉備 13－12 倉敷工

総社 20－10 岡山工

▼3位決定戦

倉敷工 17－12 岡山工

▼決勝

総社 12（[illegible]－6、6－4）10 吉備

〈女子〉

▼1回戦

大安寺 9－7 瀬戸南

一宮 10－6 落合

▼2回戦

倉敷南 24－2 大安寺

青陵 7－4 操山

総社 11－8 津山商

備前東 12－2 津山東

芳泉 12－5 矢掛

児島 6－3 金川

倉敷商 15－1 朝日

一宮 13－8 古城池

▼3回戦

倉敷中央 6－1 倉敷南

真備 10－2 青陵

総社 17－7 総社南

玉野 18－3 備前東

天城 15－4 芳泉

西大寺 17－4 児島

倉敷商 9－3 津山

玉野光南 20－5 一宮

▼4回戦

倉敷中央 9－8 真備

総社 11－5 玉野

児島 15－10 天城

玉野光南 20－3 倉敷商

▼準決勝

総社 12－5 倉敷中央

玉野光南 13－3 西大寺

▼3位決定戦

倉敷中央 5－2 西大寺

▼決勝

※「平成3年度公認コーチ・シンポジューム」が、3月14、15日の両日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されます。お問い合せは日本協会指導方法委員会まで。

総社11（2－0、9－4）4 玉野光南

山口県体育大会

（11月9～10日／県立体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
周南ク 18－15 興亜石油
岩国ク 35－9 熊倶楽部
徳山曹達 23－14 山口大
下関ク 31－22 徳山工専
徳山ク 38－14 豆子郎ク
県教員団B 12－0 三井石化
下松ク 30－18 美川ク

▼2回戦
県教員団A 24－9 周南ク
徳山曹達 18－12 岩国ク
下関ク 19－17 徳山ク
下松ク 23－16 県教員団B

▼準決勝
徳山曹達 17－15 県教員団A
下松ク 23－16 下関ク

▼決勝
下松ク15（10－5、5－3）8 徳山曹達

〈女子〉
徳山ク 26－11 山口ク
徳山ク 26－7 周南ク
山口ク 12－12 周南ク
〔順位〕①徳山クラブ②山口クラブ③周南クラブ

四国

愛媛県高校新人大会

（11月3～17日／新居浜商高ほか）

◎東予地区大会

〈男子〉

▼1回戦
今治東 17－11 新居浜東
新居浜西 10－8 今治工
新居浜工 32－4 新居浜商

▼下位リーグ
今治工 13－9 新居浜東
今治工 22－6 新居浜商
新居浜東 17－11 新居浜商

▼上位リーグ
新居浜工 26－9 新居浜西
今治西 20－14 今治東
新居浜西 14－12 今治東
新居浜工 30－9 今治東
今治西 26－19 新居浜西
新居浜工 21－21 今治西
〔順位〕①新居浜工②今治西③新居浜西④今治東⑤今治工⑥新居浜東⑦新居浜商

〈女子〉

▼1回戦
小松 21－4 大島
今治西 28－5 土居

▼2回戦
今治北 28－3 小松
新居浜商 15－9 今治南
新居浜東 11－10 弓削
今治東 26－3 今治西

▼下位リーグ
弓削 14－11 今治南
弓削 14－7 小松
弓削 17－5 今治西
今治南 14－6 小松
今治南 16－3 今治西
小松 9－6 今治西

▼上位リーグ
今治北 23－5 新居浜商
今治東 13－12 新居浜商
新居浜商 19－10 新居浜東
今治北 18－6 新居浜東
今治東 19－10 新居浜東
今治北 20－10 今治東
〔順位〕①今治北②今治東③新居浜商④新居浜東⑤弓削⑥今治南⑦小松⑧今治西

◎中南予地区

〈男子〉

▼予選リーグAブロック
中央 14－12 松山東
松山東 17－16 新田
中央 20－16 新田

▼同Bブロック
松山工 13－11 松山西
松山北 20－14 松山工
松山西 7－6 松山北

▼同Cブロック
松山商 23－8 松山南
松山南 19－11 伊予
松山商 25－10 伊予

▼順位決定リーグ
中央 16－16 松山北
松山西 17－4 松山東
松山工 19－18 新田
松山商 20－12 中央
松山南 22－21 松山東
新田 25－21 伊予
松山商 22－13 松山北
松山西 21－10 松山南
松山工 32－8 伊予
松山北 14－13 松山西
松山工 22－11 松山東
〔順位〕①松山商②松山中央③松山工④松山北⑤松山西⑤松山南⑥松山工⑦松山東⑧新田⑨伊予

〈女子〉

▼予選リーグXブロック
中島 28－4 三崎
中島 29－10 伊予
松山西 13－11 中島
伊予 21－2 三崎
松山西 26－3 三崎
松山西 14－4 伊予

▼同Yブロック
東温 15－11 中央
中央 12－7 松山商
松山北 24－4 中央
東温 23－6 松山商
松山北 24－4 東温
松山北 26－6 松山商

▼順位決定リーグ
松山西 21－2 東温
松山北 17－4 中島
松山商 10－6 伊予
中央 22－3 三崎
松山北 10－5 松山西
中島 20－16 東温
中央 11－6 伊予
松山商 29－5 三崎
中央 9－7 東温
〔順位〕①松山北②松山西③松山北中島④松山中央⑤東温⑥松山商⑦伊予⑧三崎

◎南予地区
吉田 16－9 宇南

◎県大会

〈男子〉

▼1回戦
松山工 16－10 松山西
新居浜西 16－12 今治工
松山南 18－17 松山北
今治東 24－17 吉田

▼2回戦
新居浜工 19－18 松山工
松山中央 19－13 新居浜西
松山南 16－14 今治西
松山商 34－11 今治東

▼準決勝
新居浜工 24－15 松山中央
松山商 23－10 松山商

▼決勝
松山商20（7－9、9－7、1－1、3－2）19 新居浜工

〈女子〉

▼1回戦
新居浜東 24－10 松山商
松北中島 20－13 東温
弓削 17－16 新居浜商
今治南 12－11 松山中央

▼2回戦
松山北 29－7 新居浜商
今治東 25－12 松北中島
松山西 14－12 弓削
今治北 19－7 今治南

▼準決勝
松山北 20－15 今治東
今治北 19－7 松山西

▼決勝
松山北24（8－9、16－6）15 今治北

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』 第三一六号
昭和四十年六月七日 平成四年一月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成四年二月一日 発行
東京都渋谷区神[illegible]一一一一一
電話 代表 (418) 二三六一
振替 東京 六一五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
（年間購読料三千三百円）